

(1) 同志社女子大学を志望校・受験校と決めた理由。

オープンキャンパスに参加した際の先輩方の印象や学校内の雰囲気が良いからです。また、京都の中心にあるキャンパスの立地の良さと、通いやマにも魅力を感じました。

(2) 一般入試対策としての受験勉強の進め方について。

[1学期]

1学期は、5月頃の引退までには部活動が終わった後に学校や塾からの課題をこなすのが精一杯でした。また、引退後も6月中旬の文化祭に向けての準備で帰宅時間が2時を過ぎることもありましたが、与えられた課題は必ずこなすことを常に意識していたので最低限の勉強はできていたのではないかと感じます。

[夏休み]

夏休みは毎日塾の自習室に通い、授業の予習をいじりきる他には、学校で首使っていた問題集を1からやり直しなど、復習や基礎固めを中心に勉強に励みました。基礎が固まってくると、応用問題や新しい問題に手を出しやすくなるので、地道にさらに基礎固めに励むことがこの時期は大切だと思いました。

[2学期～入試直前]

2学期は、少しずつ受験校の過去問やセンター試験対策を始めました。過去問を解いてみることは、自分の目標と実力のギャップや、今やるべきこと、そしてこれからどのように勉強を進めていけば良いかの指針に役立つと思います。

入試直前は、過去問を解く→答え合わせをする→やり直し、自分のミスや分析をひたすら繰り返しました。数をこなすことで、本番に向けて自信をつけたり、慣れることができました。

(3) この一年間の受験生活において、受験勉強と高校の行事やクラブ活動の両立、健康面での注意、テレビやスマートフォン等との付き合い方、スランプとその対処法について。

勉強中はスマートフォンは機内モードにしてLINEやSNSからの通知が来ないように設定し、時間をあらかじめ机に置き、カバンの中にしようようにしていました。また、SNS等は、極力塾にいる時は見ないように意識していました。その代わりに、家に帰った後の1時間は、自分の自由時間にして雑誌を読んだり、SNSを見たり、好きなことをしました。そうすることで、その時間を楽しく勉強に励むことができました。ただし、寝る前の30分くらいはあまりスマートフォンを見ないようにし、次の日の勉強の効率が良いかなと思います。

(4) 受験を終えて、受験生のみなさんへのメッセージ。

受験勉強はしんどいけれど、思い通りに成績が伸びず苦しい思いをしたり、色んな感情が一気に押し寄せて来ます。でも、たくさん努力を重ね、自分の力で合格をつかむという経験は、かけがえのないものでしょう。応援しています。